

これからの国語科教育

—考え合う言語活動の充実をどうすればよいか—

熊本支部支部長 河野順子（熊本大学）

主催 日本国語教育学会 共催 熊本県小学校教育研究会国語部会・熊本市小学校国語教育研究会 熊本県中学校教育研究会
国語部会・熊本市中学校国語教育研究会

後援 熊本大学教育学部 熊本県教育委員会 熊本市教育委員会 国語教育湧水の会

日時 平成26年12月23日 場所 熊本大学教育学部附属小学校 受付 9時から

授業研究会 考え合う対話を言語活動のあり方について、みんなで一緒に議論しましょう！

9時30分～10時15分授業

説明的文章の授業づくり（5年3学期教材「インターネットでつながる」）

授業者 尾崎弘尚 球磨郡あさぎり町立上小学校

共同研究者 河野順子 熊本大学・熊本大学教育学部附属小学校長

「対話」による根拠をもとに理由を考え合う「批評読み」による授業提案を行います。

10時20分～11時30分 授業検討会及び対話型授業創造について討議

河野順子・鶴田清司（都留文科大学教授）・豊田誠一郎（熊本大学教育学部附属小学校）

11時30分から12時 授業を受けてのミニ講演 鶴田清司（都留文科大学教授）

13時00分～14時20分 分科会・ワークショップ

第1分科会 若い先生方も、ベテランの先生方も一緒に学び合おう！

熊本大学教育学部国語科学生による授業アイデア提案—実践と理論の統合を目指して—

・野崎圭介「学習者の認識を育成する説明的文章学習指導に関する研究—読みの方略の育成に着目して—」・山川佳純「文学的文章の学習指導の研究—批評読み」に着目して—」・池田光希「状況モデルを形成する説明的文章の学習指導研究—入門期に焦点を当てて—」・渡邊康太郎「説明的文章における「第一次」に関する研究—メタ認知的知識の再構成をめざして—」・井上大輔「入門期のコミュニケーション能力の育成に関する研究」・立宅亜衣「『ライティング・ワークショップ』の手法を用いた作文指導研究—対話の生成に着目して—」・田村庸「説明的文章の学習指導過程における発問研究」・平野友香「入門期のコミュニケーション能力の育成に関する基礎的研究—幼稚園五歳児の事例を通して—」・坂口彩芽「文学的文章における読みを深める交流に関する研究」・小原慶彦「『話すこと・聞くこと』の学習指導研究—質問力を中心に一」・中牟田佳奈「中学生の『相互交流能力』を育てる学習指導に関する研究」・岩下嘉邦「中学生の論理的コミュニケーション能力を育む話すこと・聞くことの学習指導の研究—主張・根拠・理由づけの3点セットを基盤として—」

第2分科会 生きて働く書写指導の工夫

熊本市立春竹小学校

西崎聡子

司会 斎藤正信（熊本市立隈庄小学校教頭）

助言 倉橋宏明（熊本市立春竹小学校長）

本村真也（熊本市立長嶺小学校長）

第3分科会 全員参加で取り組む協同による国語科校内研究のあり方

熊本市立壺川小学校

佐藤俊幸

司会 前田康裕（熊本市立教育センター指導主事）

助言 鶴田清司（都留文科大学教授）

第4分科会 「読むこと」の交流に関する研究—「アプロプリエーション」に着目した授業実践分析—

菊池市立戸崎小学校（熊本大学教育学部教育学研究科現職派遣）

志賀由美

司会 高鷹昭治（合志市立南ヶ丘小学校教頭）

助言 岩根 浩（菊池市立花房小学校校長）

中冽正堯（兵庫教育大学名誉教授）

第5分科会 中学年における説明文の教材解釈と指導方法の工夫

山鹿市立山鹿小学校

益田裕子

司会 原 輝智（熊本市立出水南小学校教頭）

助言 園田千賀子（山鹿市立大道小学校長）

古閑 順子（熊本市立本荘小学校長）

第6分科会 主体的に読み、表現する力を育てる指導の工夫—言語活動としての対話活動の可能性を求めて—

熊本県教育委員会マイスター教員による授業提案です

宇城市立豊野小学校

福田美佐子

司会 清田 浩文（熊本市立田原小学校教頭）

助言 古田 亮（熊本県教育センター副所長）

橋本須美子（熊本市教育センター副所長）

第7分科会 子どもの読みを可視化させ、対話を促す文学的文章の授業づくり

熊本大学教育学部附属小学校

下中一平

司会 坂本隆文（熊本大学教育学部附属小学校教頭）

助言 高森秀一（長州町立長州小学校長）
森春美（熊本市教育委員会指導主事）

第8分科会 主体的な思考・判断・表現を伴う読む力の育成～既習教材の活用と、形成的評価を基にした授業改善～
益城中央小学校 田中あかり

司会 山下淳子（益城町立広安小学校）
助言 榎山範夫（熊本市立麻生田小学校長）
尾林悦子（熊本市立泉ヶ丘小学校長）

第9分科会 根拠-理由づけ-主張を用いた中学校の授業改革

「対話」による書くことの学習指導—三点セットを用いた批評文の授業実践を通して—
大津市立大津中学校（熊本大学教育学部教育学研究科現職派遣） 村山和美
「豊かな読みにつなげる古典指導の工夫～『主張-根拠-理由付け』の三点セットと思考様式を用いて～」
熊本大学教育学部附属中学校 沖田史佳

司会 木下浩文（熊本市立向山小学校教頭）
助言 吉井秀男（津奈木町立津奈木中学校長）
上妻昭仁（熊本市立錦ヶ丘中学校長）

14時20分から16時30分 **講演**

①ミニ講演 14時20分～14時50分 日本国語教育学会常任理事 中洌正堯

②外部講師による講演 15時00分から16時10分

「聴き・訊きあう関係」の中で紡ぎ出される「新たな知の創出」を求めて 九州大学副学長 丸野俊一

講師紹介 丸野俊一

博士（認知心理学）。九州大学大学院博士課程修了。九州大学副学長。メタ認知研究を核としながらも大変広く、ご研究を進展させていらっしゃいます。本課題に関連するものとしては、「創造的学びや共感性をはぐくむ子ども主体の対話型教育の開発と支援」「子どもの発達に応じた創造的ディスカッション技能を育む学習・教育環境づくり」「ディスカッション技能・態度の育成・開発に関する理論的・実証的研究」など多数。

鶴田清司

博士（教育学）。東京大学大学院教育学研究科博士課程満期退学。都留文科大学教授。全国大学国語教育学会理事長。日本教育方法学会理事。著書は、『なぜ日本人は「ごんぎつね」に惹かれるのか』（明拓出版）、『「読解力」を高める国語科授業の改革～PISA型読解力を中心に～』『対話・批評・活用の力を育てる国語の授業～PISA型読解力を超えて～』（以上、明治図書）、『〈解釈〉と〈分析〉の統合をめざす文学教育』（学文社）『論理的思考力・表現力を育てる言語活動のデザイン 小学校編・中学校編』明治図書など多数

中洌正堯

広島大学大学院教育学研究科修了。兵庫教育大学名誉教授。前兵庫教育大学学長。全国大学国語教育学会常任理事。日本国語教育学会理事。著書は『国語科表現指導の研究』漢水社、『ことば学びの放射線 「歳時記」「風土記」のこころ』（三省堂）、『子どもとひらく国語科学習材 音声言語編』（明治図書）など多数。

問い合わせ先 〒860-8555 熊本市黒髪二丁目40-1

熊本大学教育学部 河野順子 電話・FAX（096）342-2583 E-mail kawano@educ.kumamoto-u.ac.jp
〒860-0081 熊本市京町本丁5-12

熊本大学教育学部附属小学校 下中一平 電話（096）356-2492 FAX（096）356-2499
E-mail shinen@educ.kumamoto-u.ac.jp

熊本大学教育学部附属中学校 城音寺明生 電話（096）355-0375 FAX（096）355-0379

会費 一般2000円 学生1000円（当日受付でお支払いください）12月10日までにお申込みください。

本年度は、日本学術振興会科学研究費助成による開催

※半日の研修参加も大歓迎です。一般1000円、学生500円です。当日参加も可能です。

※昼食のお弁当を700円程度（お茶付き）でお世話いたします。申し込みに○×を！

※当日は午後5：00～午後7：00で懇親会をひらきます。申し込みに○×を！

.....（一般4000円、学生3000円、切り取り線 〇です。お待ちしております。.....

日本国語教育熊本支部研究大会 【参加申し込み書】

氏名	所属校	参加希望分科会	当日昼食○×	懇親会参加○×

幼稚園・小学校は附属小学校に、中学・高校は附属中学校に、郵送または FAX でお申し込みください。